
PRESS RELEASE

CGM マーケティング、「Twitter」日本語版マーケティングパッケージの限定販売を開始 ～「Twitter」の企業プロモーションへの利用を積極支援～

株式会社CGM マーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:林 郁、以下:CGMM)は Twitter 社(米国サンフランシスコ、CEO:エバン・ウィリアムス)との契約を更新し、2009年4月20日から5月31日の6週間、日本語版マーケティングパッケージの第一限定販売を行います。

日本語版マーケティングパッケージは、「Twitter」利用の企画立案から企業アカウント作成、フォロアー(購読者)獲得、運用支援までをパッケージにした商品で、日本語版立ち上げから1年間のテストマーケティングで培ったノウハウをもとに限定販売を行なっています。

「Twitter」日本語版は2008年4月の公開後、ページビュー数、ユニークユーザー数が継続的に増えています(2009年3月時点で月間約2,300万PV、40万UU ※CGMM調べ、日本語PC版のみ)。

米国では「Twitter」をオバマ米国大統領が選挙活動に利用したことなどが追い風となり、有名歌手、俳優などの著名人利用が注目されています。また、大手PCメーカーや航空会社が「Twitter」をマーケティングに活用し成功している事例が数多く報告され、マーケティング活用でも注目されるメディアとなっています。CGMMでは、今後も口コミによる企業プロモーションの提案などを通じ、「Twitter」のマーケティングツールとしての利用を日本国内で推進していきます。

尚、親会社である株式会社デジタルガレージ(JASDAQ 4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループCEO:林 郁、以下:DG)は、全額出資子会社で投資・育成事業を手がける株式会社 DG インキュベーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:南 一哉、以下:DGI)を通じ、「Twitter」を運営する米 Twitter 社に追加出資いたしました。また、DGは、DGIによる今回の追加出資を契機に、日本における「Twitter」の普及に向けた支援体制を強化します。

2008年4月に公開した「Twitter」日本語版の運営について Twitter 社に引き続き協力するほか、2008年11月に立ち上げた「Twitter」を利用してコミュニティーを作成する「Twicco」(ついつこ)に加え、2009年第2四半期には「Twitter」やその連携サービスに関する最新情報を集約したサイトを立ち上げる予定です。

【「Twitter」について】

「Twitter」は「What are you doing?」(いまなにしている?)というシンプルな問いかけに140文字以内で答えることによって、さまざまなユーザー同士がつながるコミュニケーション・ツールです。投稿したメッセージは、自分を「フォロー」しているユーザーにリアルタイムで届きます。日常的ななにげないやりとりから、企業によるプロモーションへの活用に至るまで、「Twitter」の使い方はさまざまです。メッセージのやりとりには、Web サイトだけでなく、パソコンで動く各種の専用のクライアント・ソフトウェアや、携帯電話を使えるなど、コミュニケーション・ツールとして自由度が高いという特徴があります。

【「Twitter」日本語版マーケティングパッケージについてのお問合せ】

株式会社CGM マーケティング Twitter 担当宛

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-43-15 山崎ビル

電話: 03-5465-7315 ファックス: 03-5465-7316 メール: adsales@cgmm.co.jp

※株式会社CGM マーケティング

株式会社デジタルガレージ、株式会社電通(東証一部:4324、本社:東京都港区、代表取締役社長:高嶋 達佳)、株式会社サイバー・コミュニケーションズ(東証マザーズ:4788、本社:東京都港区、代表執行役社長:長澤 秀行)、株式会社アサソーディ・ケイ(東証一部:9747、本社:東京都中央区、代表取締役社長:長沼 孝一郎)の4社による共同出資会社。